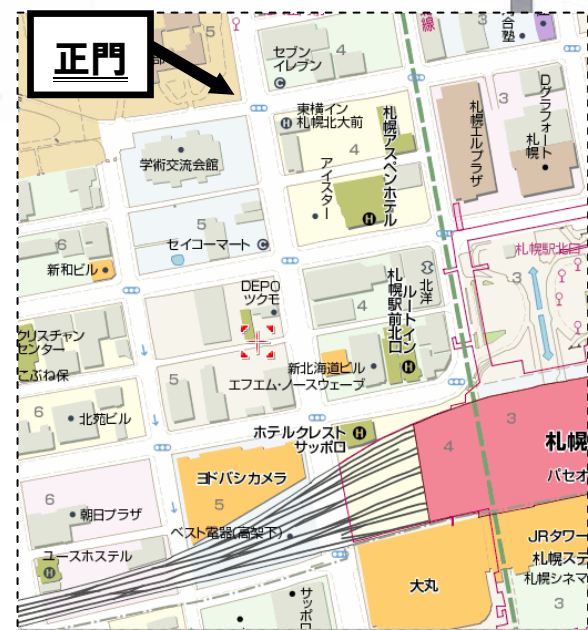
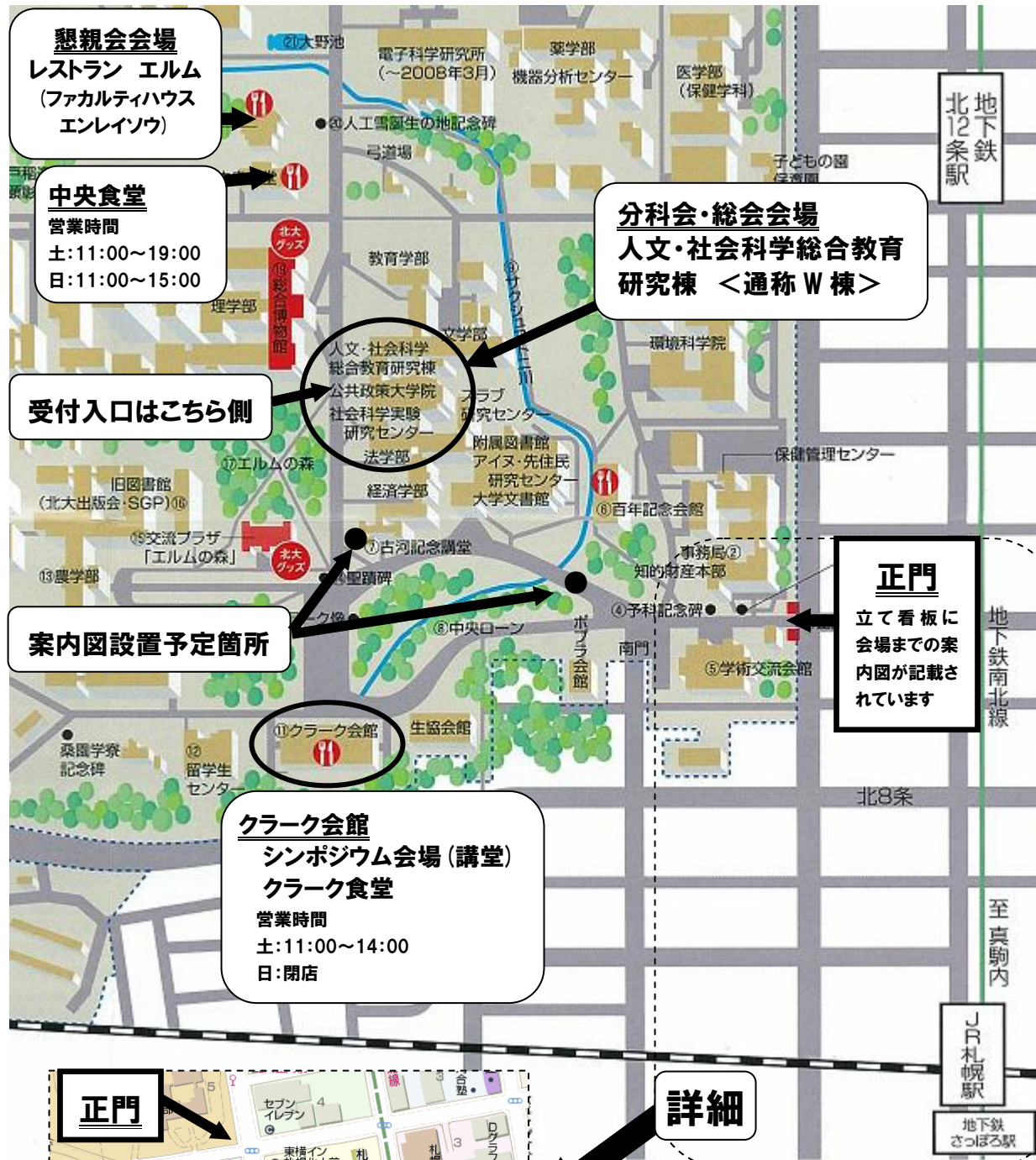


# 会場のご案内

## ◆北海道大学(札幌キャンパス)



●北海道大学へのアクセス●  
札幌駅北口より正門まで徒歩 5 分  
正門から分科会会場まで徒歩 5 分

正門に設置されている学会案内のたて看板  
および各所に、学会大会・シンポジウム会場・懇親会会場へのアクセス方法を示した案内図を掲示しますので、ご覧ください。

# 文化経済学会 <日本> 2008 札幌大会

## 大会テーマ

## 地域の繁盛は文化から

- 日程 2008年7月4日(金)・5日(土)・6日(日) \*4日はスタディ・ツアー
- 会場 北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 <通称 W棟>  
[〒060-0810 北海道札幌市北区北10条西7丁目]

【アクセス】JR札幌駅 北口より徒歩10分

新千歳空港-JR札幌駅 ①快速エアポートで40分(15分間隔で運行) ②高速バスで70分(20分間隔で運行)

- 主催 文化経済学会<日本>、北海道大学大学院 文学研究科
- 後援 北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道新聞社、毎日新聞北海道支社、朝日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社、日本経済新聞社札幌支社、北海道放送、札幌テレビ放送、北海道文化放送、北海道テレビ放送、テレビ北海道

### 7月4日(金) スタディ・ツアー

1. 札幌芸術の森ツアー
2. 北海道大学キャンパス・エコツアー
3. アルテピアッツァ美瑛ツアー(日本NPO学会共催事業)

7月5日(土)		7月6日(日)	
10:00 12:00	分科会① A B C D	9:30 12:10	分科会② A B C D ※②-A・D 終了 11:30
12:00 14:00	昼食・休憩 (12:15-13:15 理事会) ※土曜営業：クラーク食堂・中央食堂	12:10 12:50	文化経済学会<日本>総会
14:00 16:30	シンポジウム 会場：クラーク会館 講堂 「地域の繁盛は文化から ～文化と地域の持続的経営を求めて」	12:50 13:50	昼食・休憩 ※日曜営業：中央食堂 (クラーク食堂は営業していません)
17:00 19:00	懇親会(レストラン「エルム」)	13:50 15:50	分科会③ A B C D ※③-B 終了 16:30 / ③-D 終了 15:10

### ■シンポジウム「地域の繁盛は文化から～文化と地域の持続的経営を求めて」

7月5日(土) 14:00～16:30

【会場】北海道大学 クラーク会館 講堂

【パネリスト】

磯田 憲一氏(財団法人北海道文化財団理事長、特定非営利活動法人アルテピアッツァびばい理事長、旭川大学大学院教授)

松岡 市郎氏(“写真の町”東川町長)

久保 俊哉氏(札幌市デジタル創造プラザICC(インタークロス・クリエイティブ・センター)チーフコーディネーター、SAPPORO ショートフェスト実行委員会プロデューサー)

斎藤 千鶴氏(特定非営利活動法人コンカリーニョ理事長)

【コメンテーター】

小林 真理(東京大学大学院人文社会系研究科准教授：文化資源学・文化政策学)

【コーディネーター】

伏島 信治(伏島プランニングオフィス代表、北海道テレビ放送番組審議会委員長)

#### ◇お申込方法◇

専用の参加申込書にご記入の上、下記学会事務局までFAXにてお申込ください。

※学会への連絡は、7/3(木)17時までお願いいたします。

7/4(金)より現地にいるため、

メール・FAXなどをお送りいただいても、確認することができません。

文化経済学会<日本>事務局

TEL:03-5909-3068

FAX:03-5909-3061

e-mail: info@jace.gr.jp

〒160-8374 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2F(社)芸団協内

7/5 (土) 10:00~12:00

氏名	タイトル	座長	討論者
----	------	----	-----

①-A 活動分析 I

中川千恵子	アート NPO の現状と課題—運営者意識調査の分析から—	川崎賢一	山田太門
上野信子	文化産業の発展要因に関する考察—創造性人材の活動分析を通して—	川崎賢一	山田太門
有馬昌宏	学生の実演芸術の鑑賞行動を規定する要因についての基礎的分析	川崎賢一	勝浦正樹

①-B アメニティ・税制・評価

藤谷岳	NPO によるアメニティ保全の制度的課題—英日ナショナル・トラストの比較分析から—	小林好宏	北村裕明
勝村(松本)文子／ 後藤和子／田中鮎夢	キジムナーフェスタの評価分析—その文化的・社会的・経済的価値の視点から—	小林好宏	友岡邦之
後藤和子／則本浩佑	政策課税としての文化税制—その理論的根拠と望ましいデザイン	小林好宏	北村裕明

①-C 表現と創造性

竹田舞	現代日本における身体表現活動の意義と〈からだ気づき〉プログラムの検証について	佐々木晃彦	尼ヶ崎彬
李粉善	紐帯としての〈く布〉—祭礼における〈く布〉の役割と表現の日韓比較表現—	佐々木晃彦	若松美黄
萩原雅也	「創造の場」実践事例の発展プロセスについての考察	佐々木晃彦	尼ヶ崎彬

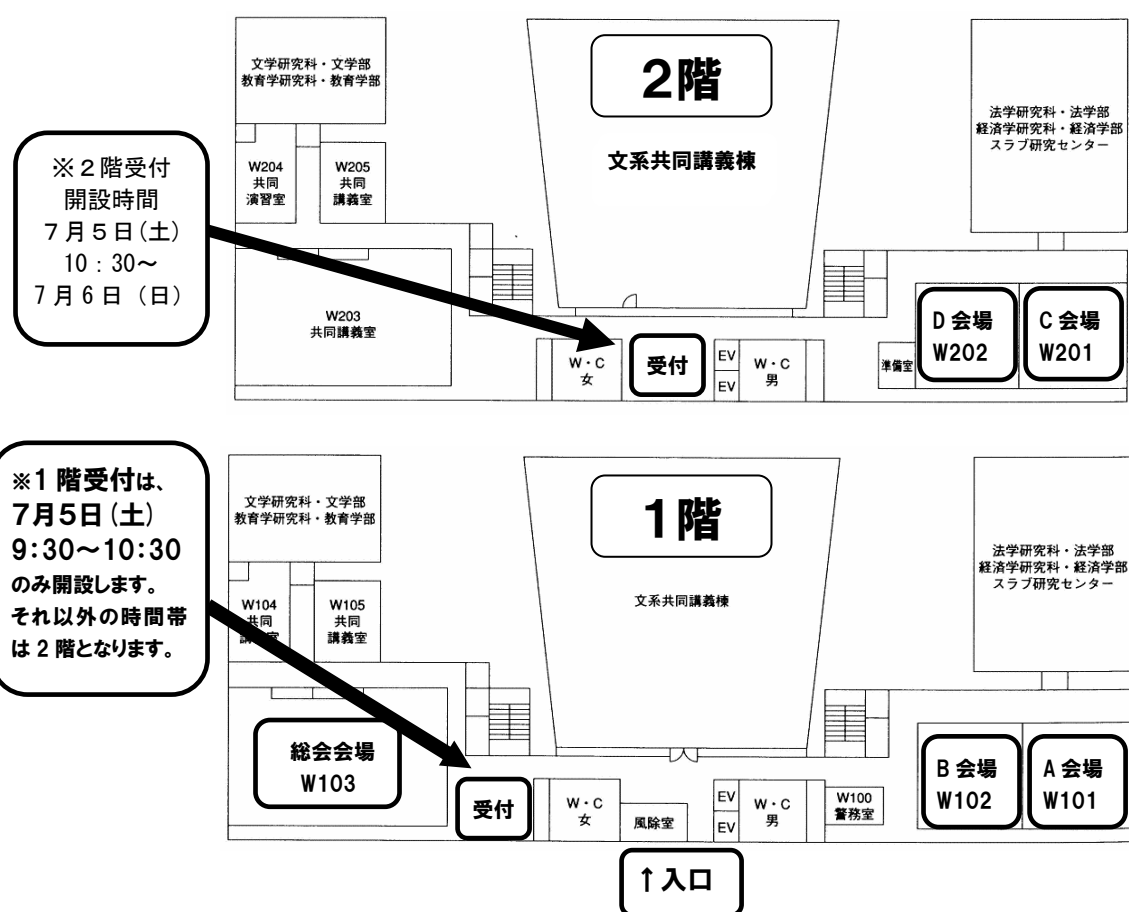
①-D 事例報告 I

李俊／藤原恵洋	地域固有の民話にもとづく市民参加型舞台芸術創造の意義と課題—『まれびとエビス〜紫川物語〜』への参与調査を通して—	野田邦弘	松本茂章
尾崎正敏／大家賢三	市民ミュージカルの地域連携—(財)高知市文化振興事業団の活動事例から—	野田邦弘	松本茂章
三木弘和	オリジナルミュージカル『卑弥呼』2007 年全国公園を通した汎地域型アートマネジメントの意義に関する考察	野田邦弘	松本茂章

■14:00~16:30 シンポジウム (クラーク会館 講堂)  
「地域の繁盛は文化から—文化と地域の持続的経営を求めて」

■17:00~19:00 懇親会会場：レストラン エルム  
(ファカルティハウス エンレイソウ)

●分科会・総会会場



7/6 (日) 9:30~12:10 (②-A・D 11:30 終了)

②-A 都市再生・まちづくり ※終了~11:30

浅村晋彦	「創造性」の観光への導入による都市経営の効果性に関する考察	佐々木雅幸	古池嘉和
梅原宏司	1970 年代における地方自治体の「文化行政」と「まちづくり」の関連について—歴史的考察—	佐々木雅幸	鈴木茂
森賀盾雄	工業都市の知的財産(資源)形成と知識人「明治~昭和戦前期の新居浜市訪問者を中心に」	佐々木雅幸	鈴木茂

②-B 文化政策 ※終了~12:10

平田雅	現代美術アワードの変遷と展開—企業による 1990 年以降の事例を中心に—	片山泰輔	熊倉純子
小島レイリ	米国連邦政府機関における芸術振興：ケネディ舞台芸術センターにおける国際プログラム戦略を通して	片山泰輔	河島伸子
岩本洋一	出版における構造変容と公共政策	片山泰輔	河島伸子
太下義之	”Agenda21 for culture”に関する研究—国際機関が提唱する都市(地域)文化政策の参考文書—	片山泰輔	小林真理

②-C 事例報告 II ※終了~11:30

片岡英己／谷口知司	文化遺産等の CG 再現とそれを活用した地域振興について—藤原京の CG 再現を事例として—	根木昭	中谷武雄
近藤太一	世界遺産に登録された「石見銀山遺跡」の意義	根木昭	中谷武雄
中坪功雄	祭りと民俗芸能と活かしてビジット・ジャパンを考察する外国人に見せたい日本の原風景	根木昭	中谷武雄
藤原恵洋	老朽化公共ホールの再生に向けた市民参加型基本構想の検討—福岡県八女市町村会館・八女市中央公民館の地域交流センター化へ向けたよみがえり市民フォーラム等を通して—	根木昭	中谷武雄

②-D 事例報告 III ※終了~12:10

伊藤大介	公立ミュージアムの広報・広告活動とその研究動向	衛紀生	松田芳郎
朝倉由希	音楽事業を評価する視点—PMF を事例として—	衛紀生	松田芳郎
小林好宏	舞台芸術に対する需要拡大要因の分析—札幌交響楽団の場合—	衛紀生	松田芳郎

■12:10~12:50 総会

7/6 (日) 13:50~15:50 (③-B 16:30 終了/③-D 15:10 終了)

③-A 活動分析 II

勝浦正樹／永山貞則／松田芳郎	サービス業基本調査による文化芸術産業の詳細産業分類による分析	山田太門	山田浩之
周防節雄／永山貞則／松田芳郎	日本の芸術家の地域分布と所得水準の変動：1986-2006 年	山田太門	山田浩之
八木匡	International Cultural Exchange and Economic Impact	山田太門	阪本崇

③-B 地域と文化教育機関 ※終了~16:30

坂部裕美子	地域データを利用した劇場分類法の提案	端信行	清水裕之
坂本洋代／谷口知司	フィールドミュージアムにおける RFID を活用したデジタルアーカイブ	端信行	佐々木雅幸
西孝	カルチュラル・ツーリズムの可能性—美術館の集客効果と地域経済への影響	端信行	佐々木雅幸
本田洋一	リージョナル・イノベーション・システムと芸術系大学の役割—地域のイノベーション能力と創造的生活者—	端信行	片山泰輔

③-C コンテンツと経済

保原伸弘	戦後日本におけるヒット曲(流行歌)の調性、楽式、と経済状況(景気動向)の関係	加藤種男	増淵敏之
小山友介	日本型コンテンツ産業システムについての一考察	加藤種男	増淵敏之
助川(松島)たかね	事例研究に見るコンテンツファンドによる投融資の役割と課題：産業界活性化のために求められる機能	加藤種男	太下義之

③-D 事例報告 IV ※終了~15:10

阿思根	地域活性化を戦略的に推進するための取り組み—文化と経済の関係研究から応用へ—	藤原恵洋	後藤和子
松本茂章	10 周年を迎えたパリ日本文化会館の活動	藤原恵洋	後藤和子